



西堀小だより

【校訓】 禮儀（れいぎ） 質朴（しつぽく） 自治（じち）
【教育目標】 やさしく かしく たくましく

7月号 令和7年6月30日発行
児童数 372名
新座市西堀 2-18-3
TEL 042 (491) 6671
FAX 042 (495) 8848

体験、思い出だけではない+ (プラス)

校長 鶴田 千尋

梅雨入りしたもののわずか数日で、連日35℃に迫ろうかという非常に暑い日々が続いています。熱中症の心配が増えています。栄養のある食事、適度な運動、睡眠といった基本を守って日々の体調管理に注意していくことが重要になります。学校も、熱中症警戒アラートに気を配り、暑さ指数（WBGT）をこまめに測定しながら、授業に取り組んでいきます。場合によっては屋外での活動を取り止めることがありますので御承知おきください。

日光修学旅行から

今月5日、6日の一泊二日で、6年生の日光修学旅行がありました。天候にも恵まれた素晴らしい環境の中、東照宮、華嚴の滝など歴史と文化、自然を感じられるものとなりました。

修学旅行は、明治19年に東京師範学校で行われた「長途遠足」が始まりといわれています。その名の通り、泊を伴う遠足ということです。しかし、遠足とはいえ、当初から学術研究を重視していたようで、途中途中で文化財や遺跡の見学など、今に継がれる活動もあったようです。今では、学習指導要領・特別活動の遠足集団宿泊行事に位置付けられています。平素とは異なる生活環境において、①見分を広めること、②自然や文化に親しむこと、③よりよい人間関係を築く集団生活、公衆道徳の体験を積むことをねらいとしています。

戦場ヶ原でのハイキング、日光の自然、東照宮と徳川将軍の関係、江戸時代について、子供たちは事前の学習を通じてそれらの価値や重要性を理解して修学旅行に臨みました。国内だけでなく、全世界からの観光客との触れ合いや公共マナー、泊を通じた友達との思い出づくりなどたくさんの経験や体験を積むことができました。修学旅行のねらいをしっかりと達成し、一回り大きくなりました。

この後、林間学校や校外学習はまだまだ続きます。各学年等が、ねらいをしっかりと達成できるように指導してまいりたいと存じます。

夏休みがくる前に

1学期の授業も残すところわずかになり、3週間ほどで夏休みに入ります。1学期の学習はしっかりできたでしょうか。1年生はひらがなの学習、2年生は3桁のたし算やひき算、3年生は新座の名物であるニンジンづくり、4年生は体育の跳び箱、5年生はインゲンマメの発芽条件、6年生は、ゆでたり、いためたりする調理法について、そしてコスモス学級は、苦手なことへの挑戦など多くのことを学びました。

夏休みまでに、何が身につけていて、何がもう少しであるのか、もう一度学んだことをまとめておいてください。そして、ゆっくりと時間をかけられる夏休みにもう一度復習をして自分のものになるようにしてほしいと思います。